

# 東海北陸ブロック報告

三重大学医学部附属病院

平山 雅浩

静岡県立こども病院

渡邊 健一郎

名古屋大学医学部附属病院

高橋 義行

## 東海北陸ブロック

### 2021年度の事業報告

#### 東海北陸ブロック小児がん連携



連携医療機関		類型*
1	富山大学附属病院	1、3
2	金沢大学附属病院	1、3
3	金沢医科大学病院	1
4	岐阜大学医学部附属病院	1、3
5	岐阜市民病院	1、3
6	静岡県立静岡がんセンター	1、2、3
7	聖隸浜松病院	1
8	浜松医科大学医学部附属病院	1、3
9	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	1、3
10	愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院	1
11	愛知医科大学病院	1
12	名古屋医療センター	1、2、3
13	藤田医科大学病院	1、3
14	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院	1
15	名古屋市立大学病院	1
16	名古屋市立西部医療センター	2
17	豊橋市民病院	1

\* 類型

1 : 地域の小児がん診療を行う連携病院

2 : 特定のがん種等についての診療を行う連携病院

3 : 小児がん患者等の長期の診療体制の強化のための連携病院

#### 東海北陸ブロック地域小児がん医療連携体制連絡協議会

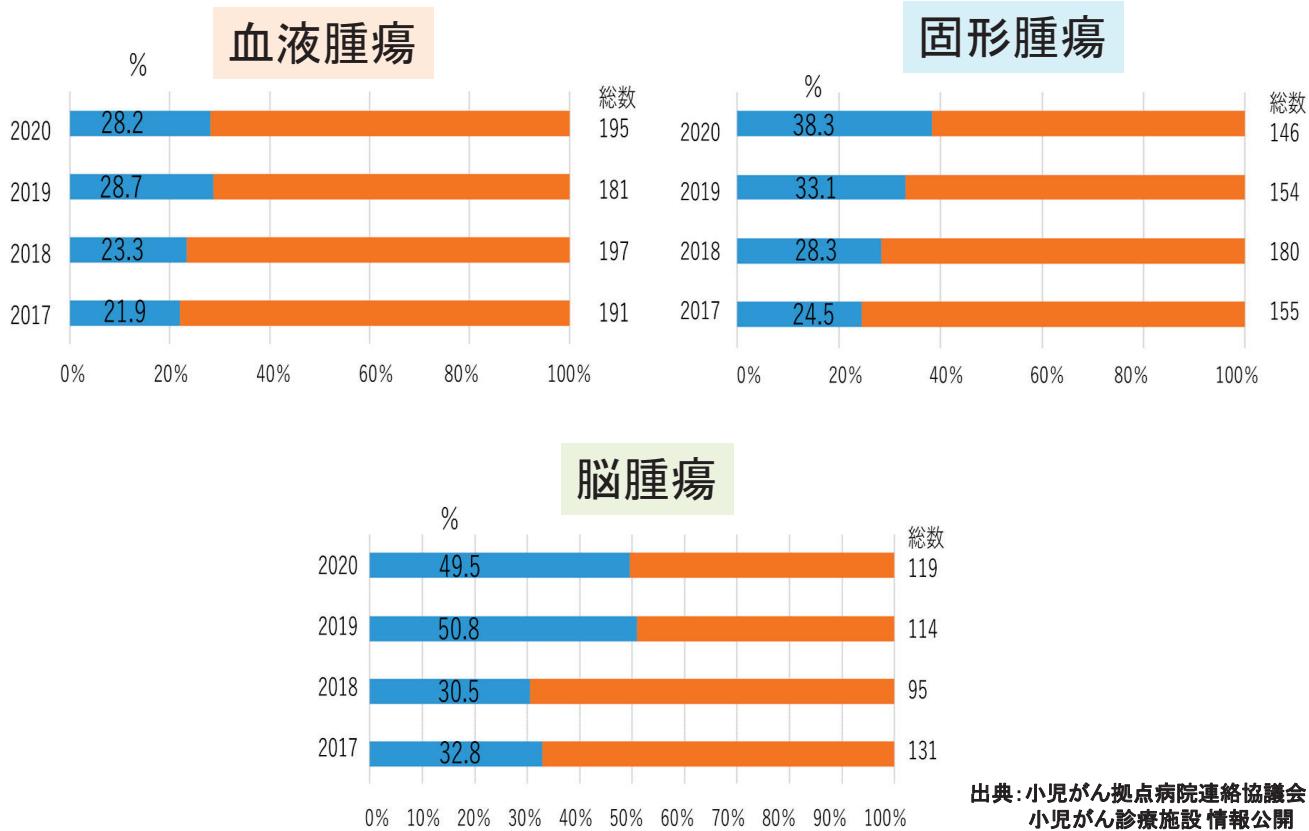
第7回 : 2021年10月15日(金) Web開催

参加者 : 6県14人、17施設 31人(拠点病院除く)

第8回 : 2022年3月25日(金) Web開催

参加者 : 6県15人、17施設 30人(拠点病院除く)

# 診療実績の推移



出典: 小児がん拠点病院連絡協議会  
小児がん診療施設 情報公開

# 2021年度の事業報告

## 医師向け

### ・小児脳腫瘍セミナー

2021年11月29日

18施設 64名



### ・東海小児がん研究会

2021年9月18日

29施設 85名

2022年2月5日

38施設 93名



### ・小児血液・がんセミナー in中部

学会専門医更新単位認定  
(5単位)

2022年2月8日

25施設 69名



## 看護師向け

### ・小児がん看護研修会

2022年2月27日

Web

28施設

76名



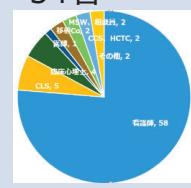
### ・小児がん看護検討会(通称:PONTHA)

2022年1月13日

Web

11施設

54名



## 多職種向け

### ・小児がん相談支援部会

2021年8月21日

Web

20施設 6学校

122名



### ・中部小児がんトータルケア研究会

2021年10月9日

Web

112名



### ・アウトリーチ型多職種連携研修会(金沢)

2021年6月26日

Web

17施設

68名



出典: 東海北陸ブロック小児がん診療施設連絡協議会

# 2022年度の事業計画

## ■ 小児がん拠点病院と連携病院との連携構築促進

東海北陸ブロック地域小児がん医療連携体制協議会

日時：10月24日 方法：Web会議形式

## ■ 小児がん・AYAがん診療と相談支援の充実

Web会議形式

小児がん相談支援部会及び看護研修会の継続開催

AYAがん診療及び相談支援体制の継続的な課題抽出

## ■ 脳腫瘍セミナーの開催、連携の推進

脳腫瘍診療の課題に対する研修会や相談支援の連携強化

## ■ 多職種連携の推進

アウトリーチ型研修会（7月23日）中部小児がんトータルケア研究会（10月29日）

## ■ LCAS開催

日時：8月20日

## ■ 小児・AYA世代がん患者に対する妊娠性温存セミナー

日時：10月1日 方法：Web会議形式予定

## ■ 小児がん終末期医療体制の実態調査

人生会議（ACP）、協働意思決定（SDM）など

# 名古屋大学病院 事業報告

**多職種支援型長期フォローアップ外来：多職種（医師・薬剤師・MSW・看護師）事前カンファレンスによる課題抽出・共有、当日問診票・面談・診察**

**妊娠性温存の取り組み：入院時に説明文書で説明**

- ・卵子・胚凍結 卵巣組織凍結：対象 12-45歳
- ・精子凍結：対象 思春期以降

**AYA世代支援・学習支援：**

- ・学校カンファレンス：地元学校と入退院時、進学時
- ・中高生への学習支援：在籍校から訪問教育実施
- ・学習支援ボランティアサークル「パレタス」
- ・クロワッサンス（AYA世代小児がん経験者の会）

**愛知県で高校と病院を結ぶ遠隔教育が制度化**  
(2022年度から制度運用開始)



がんの高校生、  
孤独救うオンライン授業  
留年回避、つなぎ役に存在感  
(2022.5.3.朝日新聞)

**地域病院連携小児がん在宅医療プログラム**



**小児用ドクターカーがクラウドファンディングで運用開始(2021年4月より)**



# 名古屋大学病院 事業計画

東海北陸ブロック

## 診療体制(長期フォローアップ外来含む):

再発・難治白血病または進行期小児固体腫瘍について、20例程度の診療を行う。また、年間30件程度の同種造血細胞移植実績を目指す。

生殖機能温存の支援を行う体制を構築し、地域ブロックで年間5例以上の精子、未受精卵子、卵巣組織、受精卵(胚)保存実績を目指す。

ブロック内医療機関による長期フォローアップへの取り組みに関する情報を公開する。成人医療機関に引き継ぐための移行プログラムを作成・実行し、年間5例程度(併診を含む)の移行実績を目指す。

## 人材育成:

拠点病院の特性を活用した研修(がん免疫療法や在宅医療など)を年1回開催する。

専門資格取得を目指す医師・看護師・薬剤師の研修に対する支援を行い、年間1名以上の専門資格取得を目指す。医師・看護師・薬剤師・放射線技師・社会福祉士等の人材交流を計画し、年間1名以上の研修受け入れを目指す。

TV会議システムを利用した北陸・東海地区両方の医療機関が参加する症例検討会・研究会を年間2回程度開催する。

## 臨床研究:

地域ブロックを中心として、臨床研究を推進する協力体制を整備し、現在予定している臨床研究を協力して行うことをを目指す。

## 重点的に取り組んでいる課題:

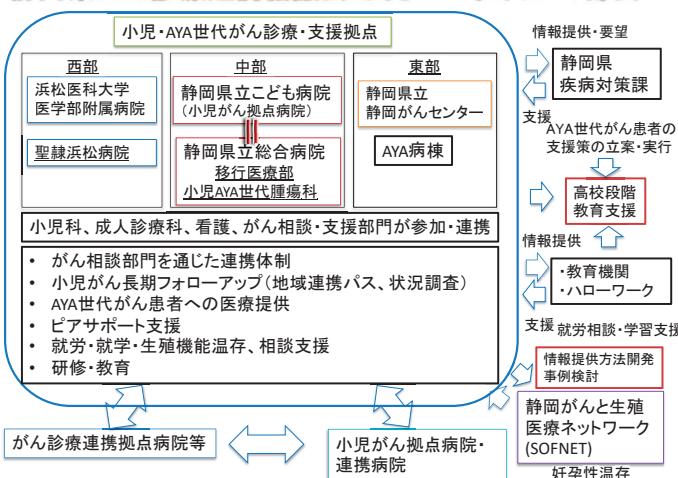
医療安全対策に係る研修会を年1回以上開催することを目指す。

# 静岡県立こども病院事業報告

東海北陸ブロック

- ・ 小児がん連携協議会、部会、研究会、
- ・ 第1回東海北陸ブロック小児脳腫瘍セミナー開催
- ・ 小児がん看護検討会(PONTHA)開催
- ・ がんの子どものトータルケア研究会静岡開催
- ・ 臨床研究体制強化
- ・ 小児がんゲノム医療の実践
  - がん遺伝子パネル検査の提供
  - 遺伝性腫瘍への対応強化
- ・ オンラインカンファレンスの継続
  - 専門医の参加する脳腫瘍、緩和ケアカンファレンス
  - 小児がん連携病院との症例オンラインカンファレンス

## 静岡県がん診療連携協議会 小児・AYA世代がん部会



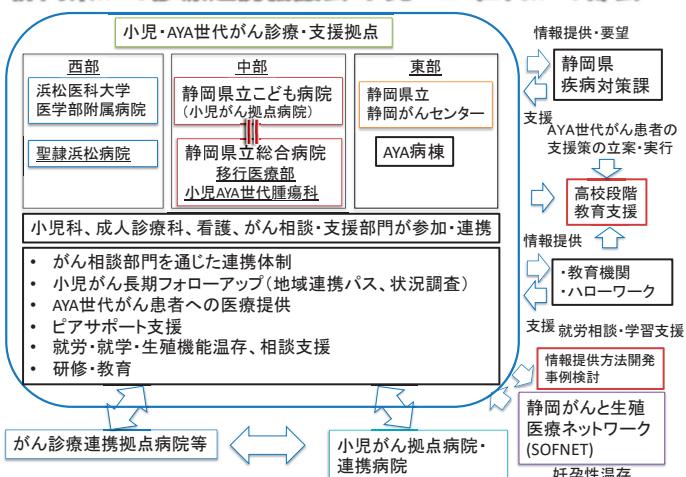
- ・ 病棟改修・運用
  - クリーン化
  - AYA世代患者療養環境整備
  - ICT教育支援用アクセスポイント設置
- ・ 小児がん市民公開講座開催
- ・ 静岡県がん診療連携協議会 小児・AYA世代がん部会活動
  - 高校段階教育支援について県担当部署と共に体制構築
- ・ 小児がん相談室の拡充
  - 成人医療移行のハブ機能拡充
  - 患者会、ピアサポート支援継続
  - 相談員の育成
- ・ 長期フォローアップ体制強化
  - 成人医療移行実績把握
  - 県移行医療センターとの連携
  - LCAS(令和4年度開催予定)の準備
- ・ 生殖機能温存体制の整備
  - SOFNETとの連携
  - 情報提供方法の開発(県内小中学校性教育実態調査解析、説明文書の作成)
- ・ AYA世代がん研修・ピアサポート
  - 静岡版AYA支援ネットワーク構築のためのワークショップ(県内医療者向け研修)開催
  - ピアサポートサミット開催
- ・ がん化学療法定期講習会開催(院内)
- ・ 緩和ケア提供体制拡充
  - 提供方法の検討、研修

# 静岡県立こども病院事業計画

東海北陸ブロック

- ・ 小児がん連携協議会、部会、研究会
- ・ LCAS開催
- ・ 第2回東海北陸ブロック小児脳腫瘍セミナー開催
- ・ 小児がん看護検討会(PONTHA)開催
- ・ 中部小児がんトータルケア研究会開催
- ・ がんの子どものトータルケア研究会静岡開催
- ・ 臨床研究体制強化
- ・ 小児がんゲノム医療の実践
- ・ オンラインカンファレンスの継続
  - 専門医の参加する脳腫瘍、緩和ケアカンファレンス
  - 小児がん連携病院との症例オンラインカンファレンス

## 静岡県がん診療連携協議会 小児・AYA世代がん部会

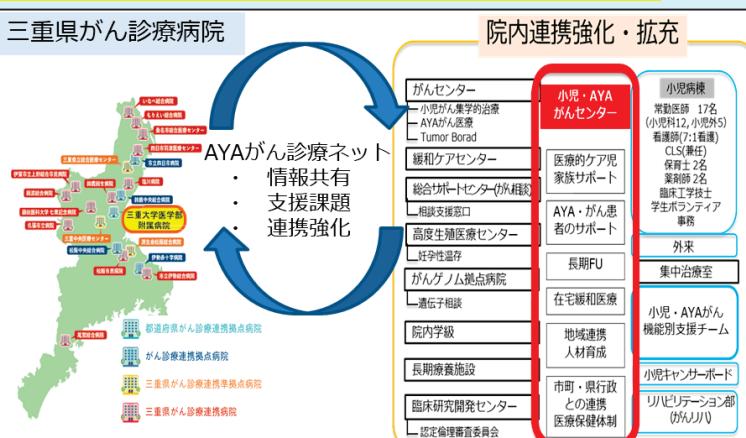


- ・ 病棟運用・環境改善
  - クリーンエリアを活用した療養・リハビリ
  - AYA世代共用スペースを利用した療養環境整備
  - 高校生を中心としたICT教育支援の実践
- ・ 小児がん市民公開講座開催
- ・ 静岡県がん診療連携協議会 小児・AYA世代がん部会活動
  - 高校段階教育支援について県担当部署と共に体制構築
- ・ 小児がん相談室の拡充
  - 成人医療移行のハブ機能拡充
  - 患者会、ピアサポート支援継続
  - 相談員の育成
- ・ 長期フォローアップ体制強化
  - 長期フォローアップ外来の拡充
  - 成人医療移行実績把握
  - 県移行医療支援センターとの連携
- ・ 生殖機能温存体制の整備
  - SOFNETとの連携
  - 情報提供方法の開発(県内小中学校性教育実態調査解析、説明文書の作成)
- ・ AYA世代がん研修・ピアサロン実施
  - 静岡版AYA支援ネットワーク構築のためのワークショップ(県内医療者向け研修)開催
  - ピアサロン(当院)、若者たちの大座談会(静岡がんセンター)開催
  - Case study for family care Associated with SCC and SCH(静岡がんセンターとの症例検討)
  - ピアサポートサミット
- ・ がん化学療法定期講習会開催(院内)
- ・ 緩和ケア提供体制拡充
  - 提供方法の検討、研修

# 三重大学病院 事業報告

東海北陸ブロック

- 小児からAYA世代のがん患者様のシームレスな院内・地域医療連携を目的に中央診療部門として、「小児・AYAがんトータルケアセンター」を設置



- 院内小児・AYAがん機能別支援チーム活動の継続的実践
  - ・ 臨床研究・がんゲノム : エキスパートパネル : 小児 3件 AYA 14件
  - ・ 高度生殖医療 : 精子保存10件 胚保存4件 卵巣保存12件 他院への紹介0件
  - ・ がんリハ : 小児がん患者(実人数57人)に実施
  - ・ 長期FU : 看護師を増員したチーム診療、リーフレット配布、臨床研究
  - ・ 緩和ケア : 小児がん緩和ケアカンファの定期開催の実施
  - ・ 造血幹細胞移植 : 移植前チームカンファを全例で実施
  - ・ AYAがん : 25名へのスクリーニングシートの実践とチーム定期カンファ実施  
県内診療病院連携ネットワークを用いたWeb研修会(5回)  
AYAがん啓発リーフレット配布

- 院内教育—高等部設置決定



- コロナ禍でのコミュニケーションツールの拡張

- 小児病棟全室でWi-Fi利用可能な体制整備
- AYAがん患者様へのWi-Fiルーター貸出サービスの継続
- スマイル花火プロジェクトの実施



# 三重大学病院 事業計画

東海北陸ブロック

## □ 小児・AYAがん診療・支援体制の充実を目的に、県行政と当院関連部局による「小児・AYAがんワーキング」設置

### 小児・AYAがんワーキング

三重県庁

- 医療政策課（がん対策）
- 長寿介護課（在宅医療、訪問看護）
- 健康推進課（小児、既病）
- 子育て支援課（妊娠性、特児扶）
- 障がい福祉課（障がい者支援（就労含む））
- 特別支援教育課（就学支援）等

三重大学医学部附属病院

- 小児・AYAがんトールケアセンター
- がんセンター
- 緩和ケアセンター
- 高齢生殖医療センター
- ゲノム医療
- リハビリテーションセンター

#### 活動内容

- ①患者の現状把握（がん登録データによる地域別/疾患別検討）
- ②患者のニーズ調査・診療支援体制の課題抽出（県内調査）
- ③患者の診療・支援充実策の検討  
(妊娠性、就学就労、LTFU、経済面等)

小児・AYA世代のがん患者の支援制度に関する内容

小児・AYA世代のがん診療・連携・相談支援体制に関する内容

提案

WGでの検討結果を幅広く展開

展開

提案

三重県がん対策推進協議会  
同 がん対策戦略プラン策定検討部会

三重県がん医療連携協議会  
同 小児・AYA部会  
同 がん相談支援部会  
同 生殖医療部会

- ・ 小児がん拠点病院における体制充実
- ・ 次期三重県がん対策推進計画（R6～）へ反映
- ・ 患者支援に繋がる事業の展開
- ・ 地域がん連携拠点病院、準拠点病院、連携病院における診療・連携・相談支援の展開

## 県内における小児・AYA世代がん診療・支援の充実

## □ 院内小児・AYAがん機能別支援チームによる継続的活動の実践

### ● 小児・AYAがん患者と家族支援体制整備

- 院内チーム活動の定期モニタリング
- 小児がんTumor Boardの継続実施
- 外来機能の拡充と病棟連携看護師配置

### ● 小児・AYAがんの長期FU体制の充実

- 患者別治療サマリーのまとめ・返却
- 移行期医療連携体制の検討
- 生殖医療体制強化と周知

### ● AYAがん診療支援体制の充実

- AYAチームによるスクリーニングシートの活用
- 院内・院外Web研修会の実施
- 院内高等部の運用開始



## 院内教室だより 5月

三重県立かがやき特別支援学校  
三重大学医学部附属病院 院内教室  
小中高合同版【第1号】 2022年4月5.2発行

### 今春「高等部」新設、スタート！

新年度がはじまってから月、新緑が美しいところになりました。  
児童生徒のみなさんも、新しい学習にすこしこなじめできましたね？  
さて、院内教室ではこの4月から新しく「高等部」が設置され、  
3名の高校生が在籍して授業が始まっています。高校には「単位の  
履修・修得」という（小・中学校にはない）仕組みがあります。この  
ため高等部は独自の日課で、多くの教員ががんやき特別支援学校  
(本校)からオンラインで授業をし、可能なところでは院内で対面  
授業もするというハイブリッド型での運用となっています。担当  
する教員の顔ぶれは次のとおりです。院内教室出入りする教員  
が増えます。どうぞよろしくお願ひいたします。



かがやき特別支援学校  
本校（津市大原）